

北海道帝国大学独立記念歌

(大正七年)

一

都みやこの花はなを吹ふく風かぜの
津つ輕がるの海うみをこえくれば
石狩いしかりの野の辺べ雪ゆき消きえて
うわかくさら若か草かの香かも高たかく
白雲しらくも空そらに行ゆき通かひて
羊ひつじの夢ゆめぞ長閑のどかなる

二

さあへいれ平わ和ゆめの夢ゆめの夢
見みよ西せい欧おうの空そらの樣よう
怪雲かいうん荒すさび暴風あらし吠ほえ
シベリヤの春はるの色いろもなく
狂風きやうふう千せん里り胡砂こさを捲まき
日本海にほんかいに波高なみたかし

三

今いまぞ皇国みいくに多事たじの時とき
北きたの守まもりの北州ほくしゅうに
護国ごこくの子等こらが学まなび舎やの
弥やや米さかえゆく喜よろこびを
心こころに永ながくしるさんとと
歌うたこゑ高たかき春はる今宵こよい